

取引基本表からわかること

① 産業別の、生産活動に必要な費用構成

タテに読むと、表頭の産業が生産活動をするに当たって
どの地域の、どの産業からどれだけ原材料等を購入したかがわかります。

東京都内産業の
 2020年1年間の
 取引状況がわかります！



Point

全国を「東京都」と
 「その他地域」の2つに分け、
 地域間の取引状況が
 わかります！

分け、

内
生
部
門

外
生
部
門

表
側

表 頭

← 内生部門 >< 外生部門 →

		中間需要				最終需要				生産額	
		東京都地域		その他地域		東京都地域		その他地域			
		産業 1	産業 2 : 本社	産業 1	産業 2 : 本社	家 計 消 費	投 資 : 輸 出	家 計 消 費	投 資 : 輸 入		
中間投入	東京都地域	産業 1	産業 2 : :	東京都	移出 1	東京都		移出 2		東京都	
	その他地域	産業 1	産業 2 : :	移入 1	その他地域	移入 2		その他地域		その他地域	
粗付加価値		雇用者所得 営業余剰 資本減耗引当 : :		東京都	その他地域	移出 1 : 東京都地域で生産し、その他地域で中間需要 移出 2 : 東京都地域で生産し、その他地域で最終需要 移入 1 : その他地域で生産し、東京都地域で中間需要 移入 2 : その他地域で生産し、東京都地域で最終需要					
生産額				東京都	その他地域						

費用の構成

費用の構成

移出1：東京都地域で生産し、その他地域で中間需要
 移出2：東京都地域で生産し、その他地域で最終需要
 移入1：その他地域で生産し、東京都地域で中間需要
 移入2：その他地域で生産し、東京都地域で最終需要

取引基本表 用語集

取引基本表(地域内表・
地域間表)共通資料

用語	説明
本社	本社活動部門。東京都産業連関表では、本社活動を独立部門として特掲し、本社活動と、財・サービスの生産部門との経済取引を明らかにしている。
中間投入	財・サービスを生産する上で必要とされる原材料等(財・サービス)を、他の部門から投入(購入)した費用を示している。
粗付加価値	各部門の生産活動に必要なとなった労働や資本、間接税などの要素費用を示している。
中間需要	財・サービスを、他の財・サービスを生産するための原材料等として他の部門へ産出(販売)した金額を示している。
最終需要	生産された財・サービスを最終的に需要する部門であり、主として家計、企業、政府等による消費及び投資額を示している。
移出	都外(国内)への販売。 なお、国外への販売である輸出とあわせて、移輸出という。
移入	都外(国内)からの購入。 なお、国内からの購入である輸入とあわせて、移輸入という。
内生部門	中間需要部門・中間投入部門を内生部門という。(関連する用語として、最終需要部門・粗付加価値部門を外生部門という。)

取引基本表 もっと知りたい方へ

取引基本表(地域内表・
地域間表)共通資料

〇〇を知りたい

- ・ 国の産業連関表との違い
- ・ 取引基本表の仕組みと使い方
- ・ 経済分析への活用法
- ・ 令和2年（2020年）表の結果
- ・ それぞれの部門分類の意味
- ・ 推計方法

令和2年（2020年）報告書

- ▶ 3～5ページ
- ▶ 15～19ページ
- ▶ 24～30ページ
- ▶ 32～47ページ
- ▶ 64～66ページ、76～84ページ
- ▶ 66～72ページ

取引基本表 よくあるお問合せ

取引基本表(地域内表・
地域間表)共通資料

Q 金額は税込みですか？税抜きですか？

A 消費税込みで表示しています。

Q どんな周期で公表していますか？

A 原則5年ごと、西暦年の末尾が0又は5の年を対象として作成しています。

Q どうやって推計していますか？

A 国の作成基本要綱に準じて、国の産業連関表や令和3年経済センサス・活動調査をはじめとした各種統計資料を利用して推計しています。

Q 国と部門や定義は同じですか？

A 対象年が同じ場合、同じですが、東京都は本社部門を特掲しています。対象年が異なると、部門・定義に変更がある場合があるため、ご注意ください。

Q その他地域とは何ですか？

A 東京都以外の地域（国内の、東京都を除く46道府県）を指します。